

校長の話

校長 上村 哲也

令和4年度最初の日を、こうしてみなさんとともに無事にむかえることができました。皆さんの元気な姿、明るい笑顔をみることができ、本当に嬉しく思います。ここに、新たに、新1年生が加わり、24学級、児童数545名でスタートします。

さて、今、気分はどうか。もちろん、不安もあることと思いますが、新しい一年のスタートに、「ようし、今年は楽しい一年にするぞ」と期待していることと思います。

新しい生活が始まると、それまでの仕組みや仲間が変わり、苦労したり悩んだりすることもあります。それは当たり前のことです。それよりも、新しい友達をつくり、みんなで力を合わせて楽しい学級をつくり上げていくことに、楽しみを見つけてほしいと思います。

ところで、昨日は6年生のみなさんが、入学式の準備を手伝ってくれました。体育館には、2年生3年生4年生のみなさんが育ててくれた花、チューリップ、パンジー、ビオラ、ノースポールの4種の花が会場を彩っています。遠くから見渡すと、ほどよく混じり合っていて、カラフルでたくさん花があるっていいなあと感じます。こういう感じを調和が取れているといいます。



近くに寄って一つ一つの花を見比べてみると、同じ種類の花でもみんな少し違って、大きいのもあれば小さいものもあるし、色が濃いものがあれば薄く透き通っているようなものもあります。とにかく、一つ一つが実はとても個性的で、少し違う花々が集まるからこそ全体がきれいに見えることに気づきました。

そんなふうに考えてみると、なんだか学校と似ているようなところがあるなあと思えてきます。

今、みなさんは新しい学級の仲間とそこに並んでいます。同じクラスになった友だちも、一人一人がみんな違って、それを個性と言います。お互いの個性、簡単に言うと、その人なりのよさや苦手なこと、性格などですが、個性をお互いに知り、大切に合っていくことが大切です。令和4年度が楽しい年になるよう、一人一人、また、みんなで力を合わせて調和がとれた学級をつくってほしいと思います。

私たち職員も、今年はメンバーが大きく変わりました。でも、それをよいチャンスと考えて、力を合わせてみなさんを支えています。みんなで、安全で安心して通うことができるいい学校をつくっていきましょう。

